



れんごう

東部地域協議会

発行 佐賀市神野東 4-7-3
TEL(0952)33-3803 FAX(0952)33-3809
発行人 鶴崎公就
Mailto:rengo-toubu@saga.jtuc-rengo.jp

政策制度の要求は連合の重要な運動の一つです。労働者の声を行政に反映させる為に、2年毎の取り組みである地域要求1人1要求アンケート調査を実施しました。要求項目総体から重点



政策委員会合同会議を開催(地協役員・自治労・議員懇談会)

政策制度要求の取り組みの流れ

項目と地域要求を、地協政策委員会(地協役員・自治体職員労組代表と地協議員懇談会)で決定しまし



作業部会で重点要求を精査

連合の政策を行政へ

労働者の声を反映させるために！

3市・4町へ要求書提出

政策制度要求書(2021年度予算反映に向けた政策・制度要求書を地協管内の3市4町に対し提出しました。各自治体では首長や三役が対応し「検討し回答します」と答えました。地協からは四役が参加し、各自治体では自治労各代表や連合佐賀議員懇談会から同行を頂きました。尚、10月末までに文書で回答を要請しており、全自治体からの回答があり次第、回答書を冊子にして配布します。

要求書提出

3市4町の各行政に対し要求書を提出、10月末までにいただくよう要請しました。

また、退職者連合地協からも社会保障制度の充実を求める要求書を提出しました。

8月26日提出

佐賀市・神崎市・吉野ヶ里町

8月28日提出

鳥栖市・基山町・みやき町・上峰町

経過等

① 2020年度回答書の冊子を配布(昨年12月)

自治体要請行動

佐賀地区 8月20日



東部地協 永石議長・佐賀市 秀島市長

鳥栖地区 8月23日



鳥栖市 橋本市民環境部長・東部地協 上吉副議長

今年は新型コロナウイルスと自然災害という複合的な災害で行政も疲弊していると思われませんが、各自治体への要請では、当局側から「“地域の声”を真摯に受け止め、要求内容を検証し回答をします。」との言葉をいただきました。



政策委員と自治体との意見交換

御礼

佐賀市の秀島市長はじめ、各市・町でも副町長・部長、課長等に対応いただき感謝いたします。また、参加いただいた各市町職員労組の役員、地協政策委員、議員懇・地協役員各位にお礼を申し上げます。

活動を停滞させない
工夫した取り組みを



コロナ禍での影響を報告

新型コロナウイルスという今まで経験をしたことのない事態に直面して半年以上経ちました。

今までと状況が一変して日常会話では耳にしなかつた用語が頻繁に使われる様になり、またマスク着用や消毒、検温が日常化しています。

労働者の祭典であるリーダーをはじめ、列島クルーズキャンペーンや各種活動が中止を余儀なくされ、従来の組合活動が停滞している状況です。

構成組織でも、集会やイベントの制限があり、また在宅勤務やリモート会議など、働き方に変化があったとの報告もありました。今後の活動は安

お知らせ

連合佐賀東部地協
第15回定期総会

日時 11月6日(金)18時20分～
場所 ホテルマリターレ創世

心安全を徹底する事、また地協と構成組織との新たなコミュニケーションのスタイルを定着させる必要があります。

労福協活動

地区委員会



これからの活動にはアイデアが必要

佐賀地区労福協と鳥栖三養基地区労福協は地区



早い終息を願い活発な活動を

委員会を開催しました。報告、2019年度活動報告と会計と予算、2020年度の活動方針と改正、新役員体制を提案し満場一致で承認されま

コラム
～備への意識を高めるきっかけに！～

～災害で被害にあわれた方々に対し
心よりお見舞い申し上げます～

9月に入り強い台風9号が上陸し、間もなく続いた大型で非常に強い台風10号。伊勢湾台風クラスとの予報で労働会館2階の連合佐賀の事務所の窓も、養生テープを貼り、割れてもガラス片が飛ばないように準備をした。また、窓際の書類を片付け、PC本体やモニターはビニール袋を被せた。もちろん我が家でも庭・車庫・家の周りにあるものを飛んで行かないように物置や家の中に入れ暴風雨に備えた。

台風が去りそれほどまで飛来物はなく、佐賀は被害が少なかった。労働会館や事務所内も何事もなくホッと胸を撫でおろした。積極的な防災の備えを行えたのは大げさな(?)予報のおかげで、いい意味でのハズレだった。

近年は「かつて経験したことのない」とか「危険予知を超える規模の豪雨」など聞くことが多くなった。

しかし私たちは、災害の知識や意識が十分とは言えず、残念ながら時間が経つと意識が薄れてくる。

喉元過ぎれば...とならないように、日頃から非常持ち出し品・備蓄品の準備や点検、避難所の確認などを行い、備えなければならない。 K・T

した。新年度の活動は、コロナ禍における国内の状況や世論に耳を傾けて実施の判断をします。また、開催する際には細心の注意を払いながら行う事となります。

第9回佐賀地区・神埼地区
労福協軍艦島上陸ツアー



7月18日(土)、佐賀地区・神埼地区と合同企画として53名の参加で開催しました。このツアーは大変人気がある取り組みです。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策として、皆さんに安心して参加していただけるように検温・マスク着用等配慮しての開催となりました。3密を避ける為、バス



2台をチャーターし、コンシエルジュでは乗船の際、貸し切りでの対応をして頂きました。

長崎市内で中華ランチを堪能した後大浦天主堂周辺の観光、そして長崎港常盤棧橋から軍艦島までのクルージングを楽しみました。

上陸後は国内最古の鉄筋高層建築物等を見学し、当時の最先端の生活や栄枯盛衰、歴史の学習をしました。

尚、軍艦島は風化が進み、また最近の台風による影響で崩落などの被害が報告されています。

今のうちには是非一度軍艦島へ上陸し、当時の島の生活に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。